

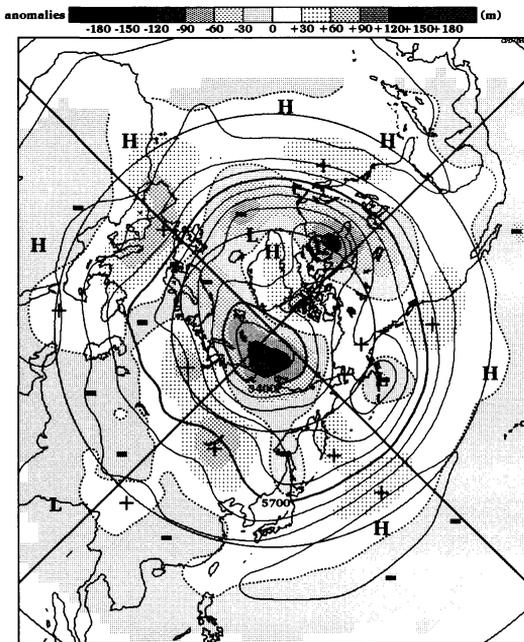
2000年6月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球500 hPa 高度では、極渦の中心は北極海のシベリア側に位置し、平年より強かった。クインエリザベス諸島からグリーンランド、ヨーロッパ、西シベリアからモンゴル、太平洋中部、北アメリカ西岸と東岸では正偏差、北アメリカ北部から大西洋北部、スカンジナビア半島、中央アジアでは負偏差となった。偏西風は地中海東部からカスピ海、チベットの北側、日本付近から太平洋で平年に比べ北偏していた。平年に比べて中国から日本の西側にかけてでは弱く、北アメリカから大西洋にかけてでは強かった。

850 hPa 高度および風ベクトル分布図によると、アラビア海には高気圧性偏差循環、ベンガル湾には低気圧性偏差循環が分布し、インド洋赤道域西側で東風偏差、東側で西風偏差となった。日本の南と東、オーストラリア付近には高気圧性偏差循環が分布し、インドシナ半島からフィリピン付近、赤道域のインドネシア東部から150°W 付近で東風偏差となった。

200 hPa 速度ポテンシャルの分布図を見ると、平年にはフィリピンの東にある大規模発散域の中心はボルネオ島北部とマレー半島の2か所に分かれて見られ



2000年6月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差
等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は60 m, 平年値は1961~1990年のデータに基づくもの。

た。

SOI (南方振動指数) は-0.6と負の値に転じた。

世界の天候

①中国北東部から中央シベリアの高温

中国のターリエン (大連) で23.6°C (+3.9°C)。

②中国北西部の低温

ロシア西部のサラトフで134 mm (307%)。

③ロシア西部の多雨

ドイツのマイニンゲンで16.8°C (+2.9°C)。

ルーマニアのシビウで24 mm (24%)。ルーマニアでは過去50年で最大といわれる干ばつに見舞われていると報じられた。

④ヨーロッパ南部の高温・少雨

カナダのイカルイで142 mm (391%)。

⑤米国南部からカナダ東部の多雨

ブラジルのコンセイサン・ド・アラグアイアで28.0°C (+2.5°C)。

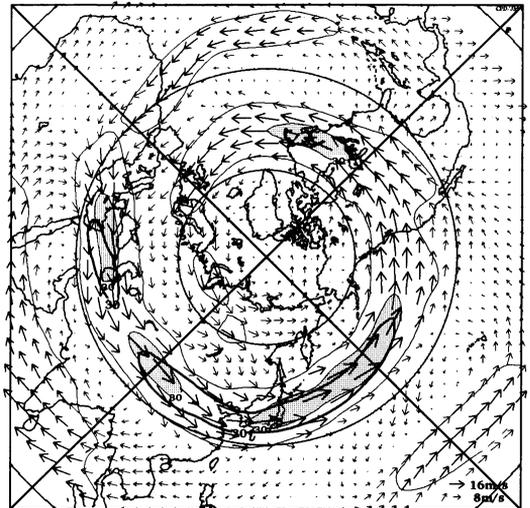
⑥南アメリカ北部の高温

チリ中部やアルゼンチン西部では、たびたび大雨や大雪の被害が伝えられた。

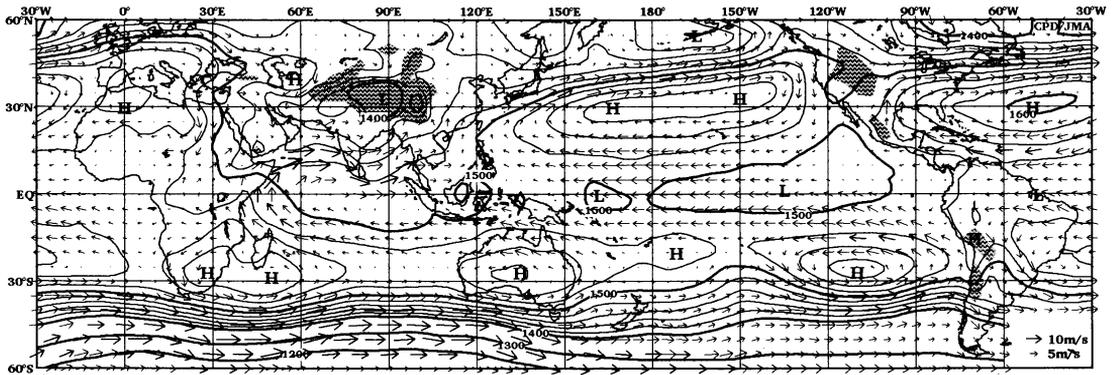
⑦チリからアルゼンチン南部の多雨

オーストラリアのブルームで19.6°C (-2.5°C)。

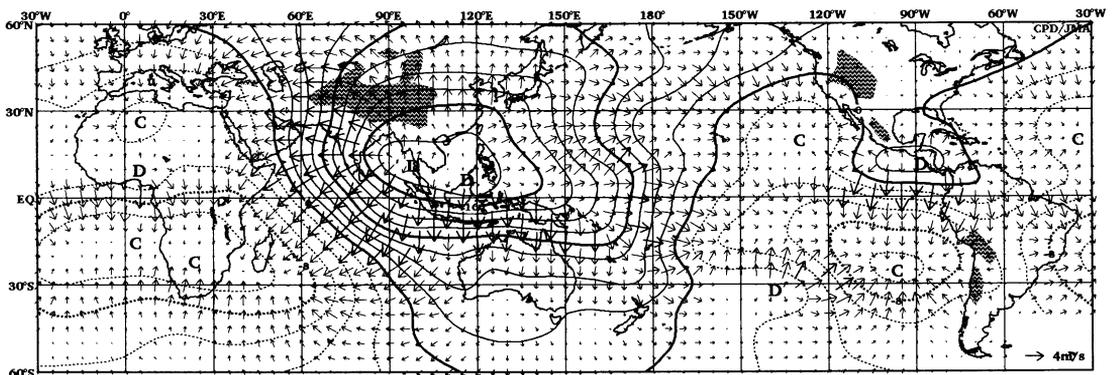
(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 藤田 匡)



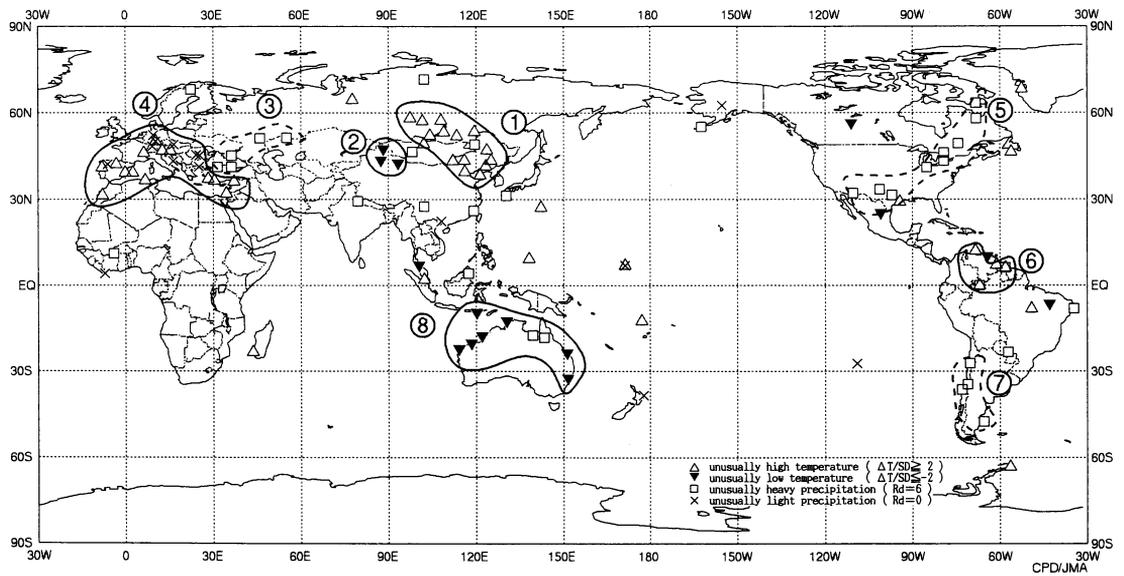
2000年6月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル
等値線間隔は20 m/s. 陰影部は平年で40 m/s以上、平年値は1979~1996年のデータに基づくもの。



2000年6月の月平均850 hPa高度および風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



2000年6月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



2000年6月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.